C.R. Bay

プリアンプジャック・取付ガイド

ストラップジャック/プリアンプの取り付け

ギターのテールブロックにすでに0.5インチ(12.7mm)の穴がある場合は、取り付けの項目に進みます。

ストラップジャックの穴を開ける:

このジャックを使用するには、楽器のテールブロックにきれいな0.5インチ(12.7mm)の穴が必要です。この穴を正確かつ効果的に開ける最も簡単な方法は、ホームセンターで入手できる0.5インチ(12.7mm)の「ステップ」ドリルビットを使用することです。他のオプションは、フォースナービットまたはブラッドポイントビットを使用することです。

注意: この作業にはスペードビットや標準のドリルビットを使用しないでください。

まず、穴を開ける領域 (通常はテールブロックの中央) にマスキングテープを貼ります。これはギターの表面を保護するためです。直径約3/16インチの下穴をドリルで開けます。あとはステップドリルを使って仕上げていきます。 ステップドリルの先端をパイロット穴に置き、ドリルの斜面をできるだけ穴の側面に並行になるようにし、テールブロックを完全に貫通するまで穴あけを続けます。

ストラップジャックの取り付け:

ストラップリング、固定ナット、およびワッシャー1つをジャックの端から取り外します。ジャックのネジ溝があるバレル部分には、平ワッシャーが1つ、星型ロッキングワッシャーが1つ、ナットが1つ残ります。

このナットとワッシャーを回し、バレルの深さが適切になるよう調整します。ジャックの小さい方のネジ部分の約90%がギターの外側のテールブロックを超えて外に出るようにすると良いでしょう。ジャックをサウンドホールからギターに入れ、テールブロックに開けられた穴に差し込んで調整を確認します。細い方のネジ溝が数本分ボディに入るぐらいが適切です。

ジャックを所定の位置に配置したら、ワッシャーをはめ、固定用ナットをしっかりと固定されるまで取り付けます。最後にストラップリングを取り付けて完成です。

完了すると、ジャックの小さなネジ部分がストラップリングの端とほぼ同一平面になるはずです。ネジ部分が奥に入りすぎると、プラグを接続した時にジャックと電気的に接触しなくなります。したがって、適切になるまで必ず調整してください。

さらに詳しい取付方法については、L.R.Baggs公式ページの HiFi製品ページにあるビデオや各種マニュアルをご覧下さい。

https://lrbaggsjapan.com/product/hifi/









【誤】 ジャック部が奥過ぎる



【正】 ストラップリングとジャック部の先端がほぼ均一